



屋代線の跡地活用で市が基本構想(案)を説明。欠けるまちづくりへの中・長期の視点。若穂の見解をまとめて、さらに協議へ…

若穂も要望書を提出している線路敷や駅用地の跡地活用について、市は庁内で検討を進めていましたが、このほど基本構想(案)をまとめました。若穂は、10月4日の屋代線跡地活用推進委員会(区長も同席)で案の説明を受けました。↓その概要です。

＝跡地活用基本構想(案)より＝
《前提となる考え方》

- ① 不必要な鉄道施設及び付帯施設の撤去は、長野電鉄(株)が行うこと。
- ② 跡地は、長野電鉄(株)が、以下の問題を解消したものから無償譲渡を受けていくこと。
 - ① 地上権、抵当権、賃借権、その他所有権以外の権利の消滅、境界標の設置、曖昧所有となっている事案の解消等、所有地境界に係る全ての問題の解消
 - ② 土壌汚染対策法への対応など、汚染対象物質等の全除去

線路敷	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車道・遊歩道として整備 ○休憩所として川田、綿内の駅舎を整備(耐震診断の上、必要に応じて改修) ○踏切部分は道路として整備
川田駅	<p>〈屋代線メモリアルパークとして活用〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅舎はバス待合所及び休憩所として整備 ○車両2000系A編成を配置 ○駐輪場はバス利用者のため活用 ○駐車場用地はパーク&バスライド用駐車場として活用 ○トイレは撤去しユニット式トイレで水洗化 ○レールマウンテンバイクは導入困難 ○駅南側敷地は更地にして多目的広場
若穂駅	<ul style="list-style-type: none"> ○駅舎、ホーム等はすべて撤去し、更地にして駐車スペースとして活用 ○駐輪場はバス利用者のため活用
綿内駅	<ul style="list-style-type: none"> ○駅舎はバス待合所及び休憩所として整備 ○駐輪場はバス利用者のため活用 ○トイレは撤去しユニット式トイレで水洗化 ○駅前広場はバスロータリーとして整備 ○一部を、パーク&バスライド用駐車場として活用 ○駅東、南側敷地は多目的広場 ○変電所跡地は PCB 処理が終わるまで長野電鉄が適正管理

火災報知機など、高齢一人暮らし世帯に配布へ
この度、全国消防機器協会から若穂自治協に火災警報器百個と家庭用消火器二十五本が無償提供されました。今後、民生児童委員や消防団のご協力をえて、高齢一人暮らし世帯を対象に配布や取り付けをおこなう予定です。



「とびっくラン」はこの11日(日)

支えるスタッフにみなぎる「活気のある若穂にしたい！」

もう、目前に迫りました。実行委員会によると参加申し込みは小・中学生が312人、高校生・一般が544人の合計856人…。ボランティアは270人に及びます。コース沿いでの声援が、ランナーへの励ましとおもてなしです。この11日、秋の若穂路が活気に埋めつくされます。

今年の紅葉はどうなりますか？

真言宗智山派の古刹・清水寺(保科在家)のモミジは、11月中旬から見頃を迎えます。京都にも引けをとらない紅葉で、年々訪れる人が増えている名所です。
(↓ 写真は以前のもの)

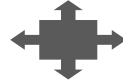


混雑予想。交通誘導にご協力

10月の合同会議から・・・

合同会議は、自治協役員(正副会長・直轄8団体代表・事務局長次長)と代表区長により概ね毎月開かれ、運営上の重要事項を協議し決定しています。10月は①文化の秋・わかほウイーク②若穂地区元気なまちづくり市民会議③乗合タクシー綿内線の見直し④長野電鉄屋代線跡地活用基本構想(案)⑤ながのとびっくラン in わかほ・・・などが主な議題でした。

ご意見や課題があれば役員または事務局までお寄せください。



お・知・ら・せ

◆県道34号線(長野菅平線)は、改良工事のため下記のとおり交通規制となります。

【片側交互通行】

平成24・11・1～24・11・29

【全面通行止め】

平成24・11・30～25・6・30

【片側交互通行】

平成25・7・1～25・7・26

◆子育て青少年育成協議会(□□□□会長)が会報創刊号を発行しました。組織見直しにともなって新たに再編成された機関ですが、「わかほこどもまつり」や青少年育成活動などめざましい活動ぶりです。

◆若穂隣保館の文化芸能祭は11月11日(日)の12:40～16:40。(展示は10:00～)文化講演会や児童生徒の発表、踊りなどの発表があります。皆さんおでかけください。

若穂で初の「軽トラ市」開催 / 新たな交流の場になりそう・・・



快晴の10月20日(土)午前、若穂で初めての「軽トラ市」が若穂軽トラック市の会の方々によって支所駐車場で開かれました。11月11日(日)の《とびっくラン》のおもてなしでも「軽トラ市」が一役果たすことになっています。そのリハーサルも兼ねた第1回でしたが、上々のスタートです。ご苦労さまでした。

小銭不要！ バスがICカードで乗れるようになりました・・・

「おでかけパスポート」もICに変わります



市内の路線バス(長電、アルピコ、ぐるりん号)に共通のICカードは「くるる」。一般カードと割引カード(障がい者など)があり、一般用はバス車内で購入もチャージもできます。70歳以上適用の「おでかけパスポート」もICに変わります。広報ながの9月号を参照するか、交通政策課(☎224-5012)へ。

編集後記

限られた紙面スペースですが、自治協と皆さんをつなぐメディアとして、即応性を心掛けています。今号で六十六回。全戸配布なら四千枚、回覧なら五百枚必要で、両面となると印刷はその倍になります。
長らく使っていた印刷機が、このほど更新(リース)されました。二色印刷が可能で、スピードも速く便利で、負担金方式で区長会などの団体も利用しています。
自治協のブログはご覧になりました？ **若穂自治協ブログ**で検索できます。若穂在住の方はもとより、家を離れている学生さんや、新たな地で生活されている出身者の皆さんにも読んでほしい交流のための「掲示板」です。保科出身の、東京多摩市に住むT通信員からはいつも投稿いただけます。もつとその輪を広げたいものです。(小)